

ひょうごらくのうメモ

11

2024NOV



表紙：第42回 らくのうひょうごフェスティバル・乳牛共進会 より

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

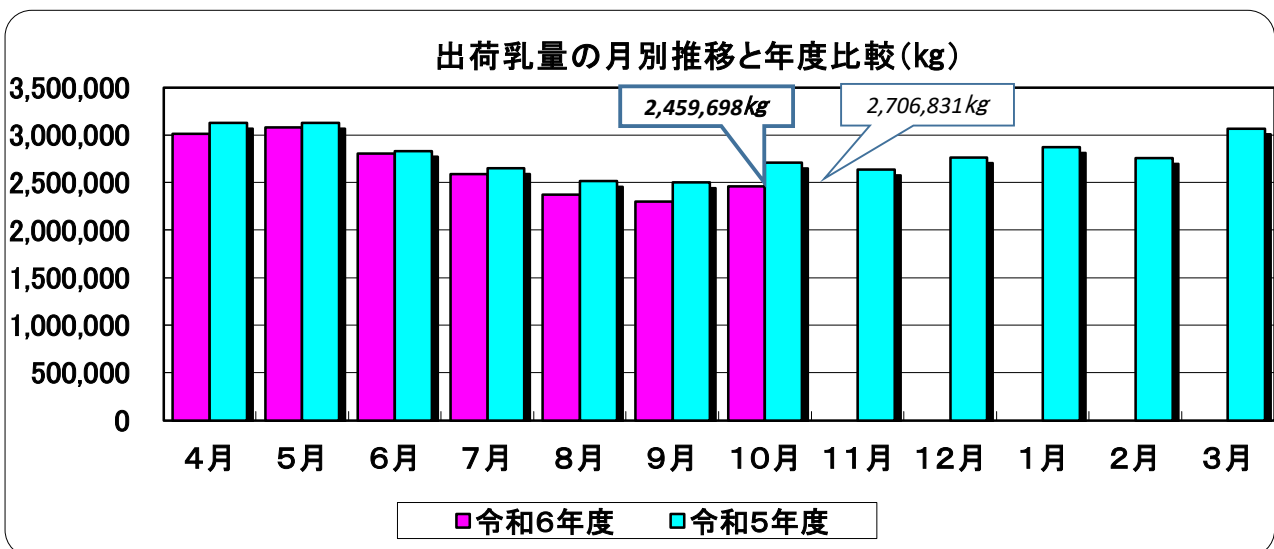
生乳生産統計

1. 全国(令和6年9月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

			生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和	6年	4月	635.0	101.1
令和	6年	5月	655.6	101.0
令和	6年	6月	616.3	99.5
令和	6年	7月	606.5	98.3
令和	6年	8月	592.0	100.3
令和	6年	9月	579.3	101.0
令和	6年	10月		
令和	6年	11月		
令和	6年	12月		
令和	7年	1月		
令和	7年	2月		
令和	7年	3月		
令和	6年度	累計	3,684.7	100.2

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 6年10月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	生乳生産量 (kg)	対前年比 (%)	
阪神地区	437,400	84.0	3,374,989	93.1	18
播州地区	321,471	96.0	2,329,865	93.6	15
丹但地区	227,837	92.7	1,683,203	88.7	12
淡路地区	1,472,990	91.8	11,248,069	98.2	77
合 計	2,459,698	90.9	18,636,126	95.7	122



開催報告

第42回らくのうひょうごフェスティバル・乳牛共進会を10月30日(水)淡路家畜市場において開催しました。

前日の雨天から一変し、心地よい秋晴れに恵まれ、多数の来賓・関係者の出席のもと盛大に開催できました。

名誉賞、優秀賞は次のとおり



【名誉賞】

No.803

マックスベル JS テンプシー ユニツク ET 号 令和3年9月2日生まれ
神戸市 永田 正樹



【優秀賞】

No.203

ケンノウ GW サイドキック スウ ET 号 令和6年1月17日生まれ
加古川市 県立農業高等学校

No.402

ケンノウ GW ラムダ ナツ ET 号 令和5年7月16日生まれ
加古川市 県立農業高等学校

No.708

ケンノウ ダチエス アロング スカイ 号 令和4年1月23日生まれ
加古川市 県立農業高等学校

出品者ならびに関係者のみなさまお疲れ様でした。

11月

◆ 主な行事予定 ◆

19日

第3回洲本市農業経営基盤強化促進審議会
(洲本市役所)
第62回淡路農林水産祭行事検討会(伊弉諾神宮)

20日

全国酪農協会理事会・酪農基本対策委員会
(東京)
もうすぐスクール(加東市立滝野南小学校)

21日

令和6年度上期監査会

22日

もうすぐスクール(県立小野特別支援学校)

25日

県酪農協女性部親睦会・合同
(なんばグラウンド花月)

26日

年末調整説明会(神戸市産業振興センター)

28日

淡路畜産技術員研究会第2回幹事会(淡路農技)

12月

2日

職員会議(WEB)

4日

第5回理事会(WEB)

12日

近畿生乳販連理事会(WEB)

参考情報

淡路家畜市場情報

令和6年10月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	18	78,283	150,700	13,200			55		
		前回	16	132,344	201,300	22,000			58	-54,061	-40.8%
		前年	16	109,931	237,600	53,900			57	-31,648	-28.8%
	オス	今回	10	111,980	190,300	28,600			55		
		前回	8	100,513	161,700	50,600			58	11,467	11.4%
		前年	20	110,275	183,700	5,500			57	1,705	1.5%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	2	6,600	11,000	2,200			61		
		前回	4	4,675	15,400	1,100			52	1,925	41.2%
		前年	1	18,700	18,700	18,700			58	-12,100	-64.7%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前は令和7年9月第4金曜日・前年は令和5年10月第2金曜日

令和6年10月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	11	84,500	188,100	11,000			56		
		前回	18	78,283	150,700	13,200			55	6,217	7.9%
		前年	10	27,940	41,800	12,100			60	56,560	202.4%
	オス	今回	13	87,069	166,100	50,600			57		
		前回	10	111,980	190,300	28,600			55	-24,911	-22.2%
		前年	15	70,840	166,100	24,200			57	16,229	22.9%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	2	9,350	12,100	6,600			54		
		前回	2	6,600	11,000	2,200			61	2,750	41.7%
		前年	2	13,750	18,700	8,800			53	-4,400	-32.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前は令和6年10月第2金曜日・前年は令和5年10月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
5年次	29,220	543	34,615	1,067	23,993	117	50,602	71,669	
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3	32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
	4	34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
	5	65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
	6	67,793	27	74,466	79	59,620	5	76,121	6,049
	7	52,833	33	60,202	74	11,000	1	64,051	5,771
	8	31,746	57	28,792	138	取引なし		38,962	6,771
	9	15,620	45	17,446	107	20,411	9	32,738	5,721
	10	16,375	53	15,531	84	3,713	8	45,190	5,949
	11	18,925	44	24,182	123	6,160	5	55,887	5,995
	12	26,865	26	22,490	83	11,367	6	54,285	5,685
6	1	30,056	34	38,463	90	取引なし		46,203	5,796
	2	33,259	34	33,658	92	14,300	4	46,549	5,562
	3	36,770	49	29,348	103	31,625	4	50,541	5,500
	4	42,848	42	34,354	78	41,800	3	64,268	5,843
	5	45,385	27	39,921	87	71,989	9	89,493	4,627
	6	62,924	54	63,092	59	75,900	3	128,836	4,102
	7	72,515	13	66,370	64	42,460	5	77,057	5,333
	8	40,288	40	38,341	86	22,275	4	21,444	5,951
	9	20,618	39	22,641	92	10,560	5	16,885	5,533
	10	10,310	51	13,786	115	4,840	5	16,302	6,356
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
5年次	122,559	6,136	118,800	3,797	164,470	1,740	94,892	180,638	
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6	204,456	298	202,847	271	250,721	111	139,965	13,253
	7	190,503	353	184,677	242	239,165	97	128,267	13,148
	8	131,660	527	123,996	394	152,514	74	86,471	16,037
	9	89,548	562	92,832	339	156,607	135	72,652	15,330
	10	81,329	653	74,372	339	112,121	140	69,375	16,525
	11	77,949	545	82,405	370	109,956	147	76,318	16,520
	12	82,404	607	82,359	335	131,580	144	73,165	16,178
6	1	96,405	549	93,851	244	116,838	139	71,742	15,916
	2	105,955	496	106,128	402	139,177	143	89,564	15,252
	3	124,959	434	118,804	294	172,915	128	107,578	14,641
	4	149,621	580	155,327	325	203,810	117	127,307	14,983
	5	209,525	369	188,358	362	212,019	125	165,311	13,062
	6	243,157	309	233,689	268	236,406	105	207,580	10,699
	7	202,896	390	199,813	270	251,198	83	169,484	13,621
	8	127,372	371	137,538	354	209,105	94	96,371	14,272
	9	110,706	583	127,049	388	169,291	101	87,532	15,289
	10	78,990	627	94,268	492	137,013	104	77,530	17,498
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和6年10月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛（乳・乳系・他）				初妊牛（乳・乳系・他）				経産牛（乳・乳系・他）			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
釧路	10/4	125	327	110	219								
十勝	10/7					561	987	165	467	49	633	171	444
十勝	10/10	362	409	11	229								
北海道	10/11	53	303	17	173	101	633	112	360	16	424	78	309
釧路	10/16					325	642	165	428				
根室	10/17					421	690	165	462				
豊富	10/18					250	605	13	391	6	330	204	267
北見	10/21					292	792	143	386	4	264	149	191
根室	10/21	145	373	29	221	1	222	222	222				
十勝	10/22					511	1,010	116	454	114	685	127	349
豊富	10/25	170	315	11	205								
北見	10/28	399	333	11	204								
合計	12回	1,254	409	11	213	2,462	1,010	13	437	189	685	78	365
前年同月成績	11回	1,108	344	7	202	2,449	1,031	110	430	165	553	62	309
前月合計成績	10回	751	385	0	204	2,485	987	125	436	273	641	15	304

ホクレン乳牛市場開催日程

11月7日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	12月6日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間) 育成
11月11日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	12月9日(月)・10日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
11月14日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成	12月12日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更) 育成
11月15日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)	12月13日(金)	ホクレン北海道家畜市場	(安平)
11月18日(月)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛) 育成	12月13日(金)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
11月22日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	12月16日(月)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
11月25日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	12月17日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
11月26日(火)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	12月20日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
11月27日(水)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)			
11月28日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)			
11月29日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富) 育成			

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所（問合せ先）

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
北海道家畜市場	勇払郡安平町早栄新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛産地情報

(令和6年11月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内	状況	税
本札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横値小	札幌管内	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、前管内月計で103.5%、苫小牧管内月計で101.3%、累計で97.8%の増減となっております。	
	初妊牛	4.0~5.0	横値小	札幌管内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産中心となりますが、相場については大きな変化は見られず横値いで推移するものと見込まれます。出回りの産別の資源状況については、F1産とF1産との間に産別差があります。産先においては、F1産中心となりませんが、高産力牛が揃っている地域となりますのでご希望がございましたらぜひお問い合わせください。	
	経産牛	3.0~4.0	横値小	札幌管内	札幌管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、前管内月計で103.0%、累計で100.6%、千歳管内月計で103.4%、累計で101.4%の増減となっております。	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横値小	釧路管内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産中心となります。産別差が中心となり、引き合いが弱い状況です。一方で、F1産を中心とした中クラス以上のものは45万円以上で取引されていることから、全体の相場は横値いで推移するものと見込まれます。産別の資源状況については産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差があります。産先においては、F1産とF1産との間に産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差が顕著な状況となっております。	
	初妊牛	4.3~5.3	横値小	釧路管内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産が中心となり、冬季に向けて分産中心となります。すでに初妊牛の中クラス以上のものは45万円以上で取引されており、産別差が顕著な状況となります。出回りの産別の資源状況については、産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差が顕著な状況となっております。	
	経産牛	3.3~4.3	横値小	釧路管内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産が中心となり、冬季に向けて分産中心となります。すでに初妊牛の中クラス以上のものは45万円以上で取引されており、産別差が顕著な状況となります。出回りの産別の資源状況については、産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差が顕著な状況となっております。	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横値小	帯広管内	帯広管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、前管内月計で102.3%、累計で100.6%の増減となっております。	
	初妊牛	4.5~5.5	やや横値高め	帯広管内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産が中心となり、冬季に向けて分産中心となります。すでに初妊牛の中クラス以上のものは45万円以上で取引されており、産別差が顕著な状況となります。出回りの産別の資源状況については、産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差が顕著な状況となっております。	
	経産牛	3.3~4.3	横値小	帯広管内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産が中心となり、冬季に向けて分産中心となります。すでに初妊牛の中クラス以上のものは45万円以上で取引されており、産別差が顕著な状況となります。出回りの産別の資源状況については、産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差が顕著な状況となっております。	
道北管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	弱含み	道北管内	道北管内の10月中旬までの生乳生産量前年比は、前管内月計で99.0%、累計で98.3%、北見管内月計で102.8%、累計で101.3%の増減となっております。	
	初妊牛	4.0~5.0	やや横値高め	道北管内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産が中心となります。冬季に向けて分産中心となります。すでに初妊牛の中クラス以上のものは45万円以上で取引されており、産別差が顕著な状況となります。出回りの産別の資源状況については、産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差が顕著な状況となっております。	
	経産牛	2.5~3.0	弱含み	道北管内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産が中心となり、冬季に向けて分産中心となります。すでに初妊牛の中クラス以上のものは45万円以上で取引されており、産別差が顕著な状況となります。出回りの産別の資源状況については、産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差が顕著な状況となっております。	
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横値小	道内	道内の10月中旬までの生乳生産量前年比は102.2%、累計で100.4%の増減となっております。	
	初妊牛	4.3~5.3	横値小	道内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産が中心となり、冬季に向けて分産中心となります。すでに初妊牛の中クラス以上のものは45万円以上で取引されており、産別差が顕著な状況となります。出回りの産別の資源状況については、産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差が顕著な状況となっております。	
	経産牛	3.3~4.3	横値小	道内	11月の初妊牛傾向としては、1月下旬~2月中旬の分産が中心となり、冬季に向けて分産中心となります。すでに初妊牛の中クラス以上のものは45万円以上で取引されており、産別差が顕著な状況となります。出回りの産別の資源状況については、産別差が顕著であり、F1産とF1産との間に産別差が顕著な状況となっております。	

*上札幌は、血統登録牛(ロクダス)の産先選者購買による予想相場です。

産先選者購買のため、市場購買とは異なります。

畜産、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
乳牛の購入計画がございましたら、最寄りの支所へご連絡ください。
担当者がお伺いし、最寄りの状況をご説明し、納得のいただけるよう尽力いたします。
また、購買後の輸送・事後処理は責任を共にして最寄りの支所と札幌支所が共同で行います。

全国酪農革新組合連合会(全酪連)

札幌支所
☎011-241-0765

《 専務 新 電話 番号 》
札幌事務所 ☎(011)52-1822
札幌支所事務所 ☎(011)52-1877
札幌支所事務所 ☎(011)52-6051

令和6年11月11日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

北米西海岸航路は乗継航路を含めて主要な本船スケジュールの乱れが続いています。シンガポールや釜山といったアジア地域の中継地では、輸送需要の高まりを受けて、慢性的な遅延が発生しています。米国の大統領選挙が終了したことに加え、年末商戦に向けた貨物の増加により港湾の混雑や労働者不足による作業効率の低下も懸念されています。

カナダでは西岸港湾労組（ILWU Local 514）とブリティッシュコロンビア海事雇用協会（BC Maritime Employers Association）の労使交渉が難航しており、争議行為としてバンクーバー港にてストライキが開始されました。現時点でカナダ政府の対応やストライキによる影響は不透明ですが、貨物の引き受け停止や荷役作業の中断も予想されることから、港内にコンテナが滞留し、遅延が発生する可能性もあるため動向を注視する必要があります。

ビートパルプ

【米国】

24-25年産ビートは各産地で作業が概ね終了しています。主産地のミシガン州では温暖な気候が続いたことで品質劣化の懸念がありましたが、現在、気温も低下しているため、保管状況は良好となっています。生産量については、砂糖生産の技術も向上していることもあり、前年よりも減少すると予想されています。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるワシントン州コロロンビアベースンでは、大半の圃場で24年産の収穫作業が終了しています。24年産は春先の生育に適した冷涼な気候や好天に恵まれたこともあり、1番刈は色目が良好で成分が高い上級品が多く収穫されました。2~4番刈については、収穫の一部で北西部近辺の山火事による煙の影響を受けましたが、全体を通して、例年以上の良品が多く収穫されています。

輸出向け需要の停滞により、産地では在庫過剰となっており、産地相場は低迷して

いますが、他農作物も同様の状況から、転作も進んでおらず、現時点においては25年産の作付面積に大きな増減はなく24年産並になると予想されています。



24年産ワシントン産アルファルファ 10月下旬撮影

左：3番刈 中級品 右：4番刈 下級品

オレゴン州

主産地であるオレゴン州クラマスフォールズでは収穫作業の進捗が早く、9月末より日中の気温も上昇したことから生育が加速し、多くの圃場で4番刈まで進み24年産の生産が終了しました。収穫された4番刈は好天に恵まれたこともあり、良品が多く発生しています。

同州クリスマスバレーでは3番刈で24年産の収穫作業を終了しています。2番刈では山火事による煙の影響で圃場での乾燥に時間がかかったことから過乾燥な品質のものや、色褪せが多い品質も発生しましたが、3番刈では山火事の影響も無くなり、良品の発生が中心となっています。

産地相場については引き続き、米国酪農家は近隣州含めて成分値が高い品質を買付していますが、荷動きは低調に推移しています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは DIP（休耕地政策）に参加していない圃場で収穫作業が続いています。米国内需に加え、中国をはじめとする輸出向け需要も依然として低迷しています。

灌漑局の発表によると、10月15日時点でのアルファルファの作付面積は139,302エーカー（前年同期は132,315エーカー）で前年同期比105%と増加しています。

米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースンおよびエレンズバーグでは24年産

の収穫作業が終了しています。1番刈は冷涼な気候の中、生育が進んだこともあり、上級品の発生が中心で中～低級品の発生は限定的となりました。2番刈は降雨や山火事の煙の影響で、上級品の発生は限定的となっています。

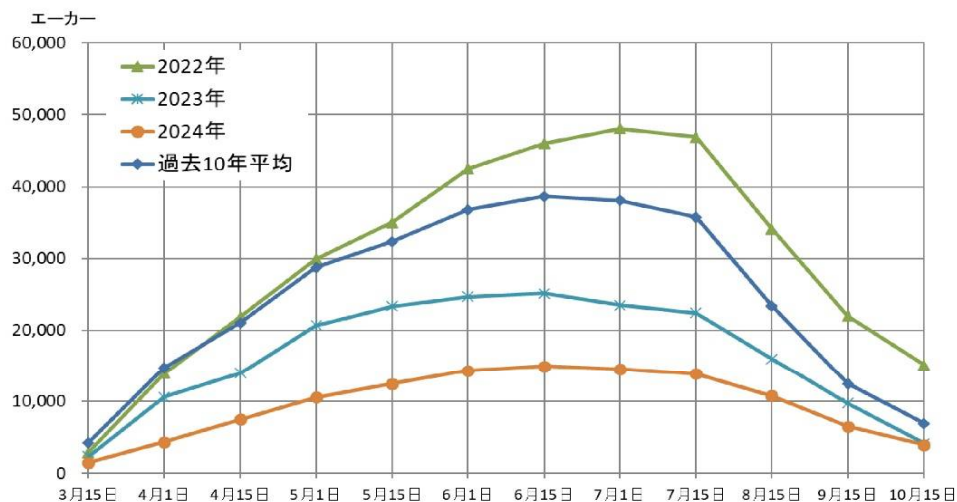
他草種と比較し、馬糧向けや小売店(ペット)向けといった相対的に換金性が高い作物であることから25年産の作付面積は増加すると予想されています。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、24年産の収穫作業が終了しています。24年産は産地相場低迷による生産意欲減退の影響で、作付面積は大幅な減少となりました。

23年産の在庫に加え、未だに22年産の旧穀在庫を抱えている輸出業者もいるため作付面積の減少による供給力に懸念はありませんが、今後の相場次第では今期の生産量と繰り越し在庫より需要が上回ることも考えられるため注視が必要です。

灌漑局の発表によると、10月15日時点の作付面積は3,947エーカー(前年同期は4,150エーカー)となっており、前年同期比95%となっています。



インペリアルバレー スーダングラス作付面積推移 (単位：エーカー)

クレイングラス (クレインは全酪連の登録商標です)

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、大半の圃場で24年産の収穫作業が終了しています。一部の圃場ではDIPの期間終了後に水入れを行っていますが、株の回復を助ける目的となっており収穫はされない見通しです。25年産でも継続してDIPが実施される見込みのため、夏場の生産は減少すると予想されています。

灌漑局の発表によると、10月15日時点の作付面積は22,624エーカー(前年

同期22,061エーカー)となっており、前年同期比103%と増加しています。

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州インペリアルバレーでは7割近くの圃場がDIPに参加しましたが、参加しなかった圃場では5番刈の収穫作業が開始されています。種子相場が堅調に推移していることからストローの生産も多く、安価な繊維源として需要も高まっています。

灌漑局の発表によると、10月15日時点の作付面積は78,842エーカー(前年同期:70,167エーカー)、前年比112%と堅調に推移しています。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区では、2番刈の収穫作業が終盤を迎えています。冬に近づきにつれ日照不足や朝夜の寒暖差で不安定な気候が続いているため、一部の収穫された2番刈は輸出向けに適さない品質となる見通しです。

24年産の作付面積は相場低迷により減少しましたが、トウモロコシや菜種といった他農作物の相場も軟化しているため、25年産の作付面積は大きく変わらないと予想されています。

同州中部のクレモナ地区では、24年産の収穫作業が終了しています。収穫までに乾燥した日が多かったものの生育期間中の降雨や高湿度な気候もあったことから、収穫された品質は中級品が中心となっています。今後、降雪の時期になることからカナダ国内の多くの酪農家は市場動向を注視し、冬季備蓄用に在庫の確保を進めています。

豪州産オーツハイ・ウィートストロー

豪州では干ばつによる降雨不足が懸念されていましたが、夏季の降雨状況は地域により様々となりました。西豪州では7月、8月を通して昨年を超える降雨に恵まれたものの、東豪州や南豪州では夏季の降水量が昨年を大きく下回りました。9月末～10月からは各地で収穫作業が始まりましたが、降雨の影響で雨当たり品が発生した地域も出ています。

日本向けの需要はスケジュール乱れによる入船過多や自給飼料の使用で低調に推移しています。

西豪州:

概ね収穫作業が終了しています。10月の収穫作業中に降雨被害が発生し、一部は輸出向けに適さない品質となりました。降雨の影響により上級品の発生は限定的で、中～低級品が中心となる見通しです。収量については、生育期間中の降雨により、多

くの地域で平年並～平年以上の見込みとなっています。ウィートストローについては現在収穫作業が開始されています。

南豪州：

概ね収穫作業が終了しており、多くの地域で降雨被害が発生しています。南豪州では豪州国内からの需要も旺盛のため、降雨被害の品質は豪州国内に販売される見通しとなっています。また、生育期間中の降雨不足により、収量は例年の7割程度になると予想されています。

東豪州：

収穫作業は終盤戦を迎えており、生育期間中の乾燥した気候が続いたことで収量は平年以下の見込みとなっています。南豪州で発生した降雨が東豪州にも生じており、一部では降雨被害が発生しています。

以上